

令和4年3月10日  
気象庁地震火山部

## 配信資料に関するお知らせ

### ～噴火警報に関する運用の改善について～

噴火警報の本文中では、火山活動の状況及び予報警報事項、対象市町村等、防災上の警戒事項等の項目を記載して発表しています。

今般、上記のうち、火山活動の状況を簡略化することで噴火警報を迅速に発表するとともに、火山活動の状況の詳細については、噴火警報発表後に火山の状況に関する解説情報を発表してお知らせするといった改善を行うこととしました。この運用について、下記の日時から開始することとしましたので、お知らせします。なお、今回の改善に伴うXML電文の構造の変更等は、ありません。

### 記

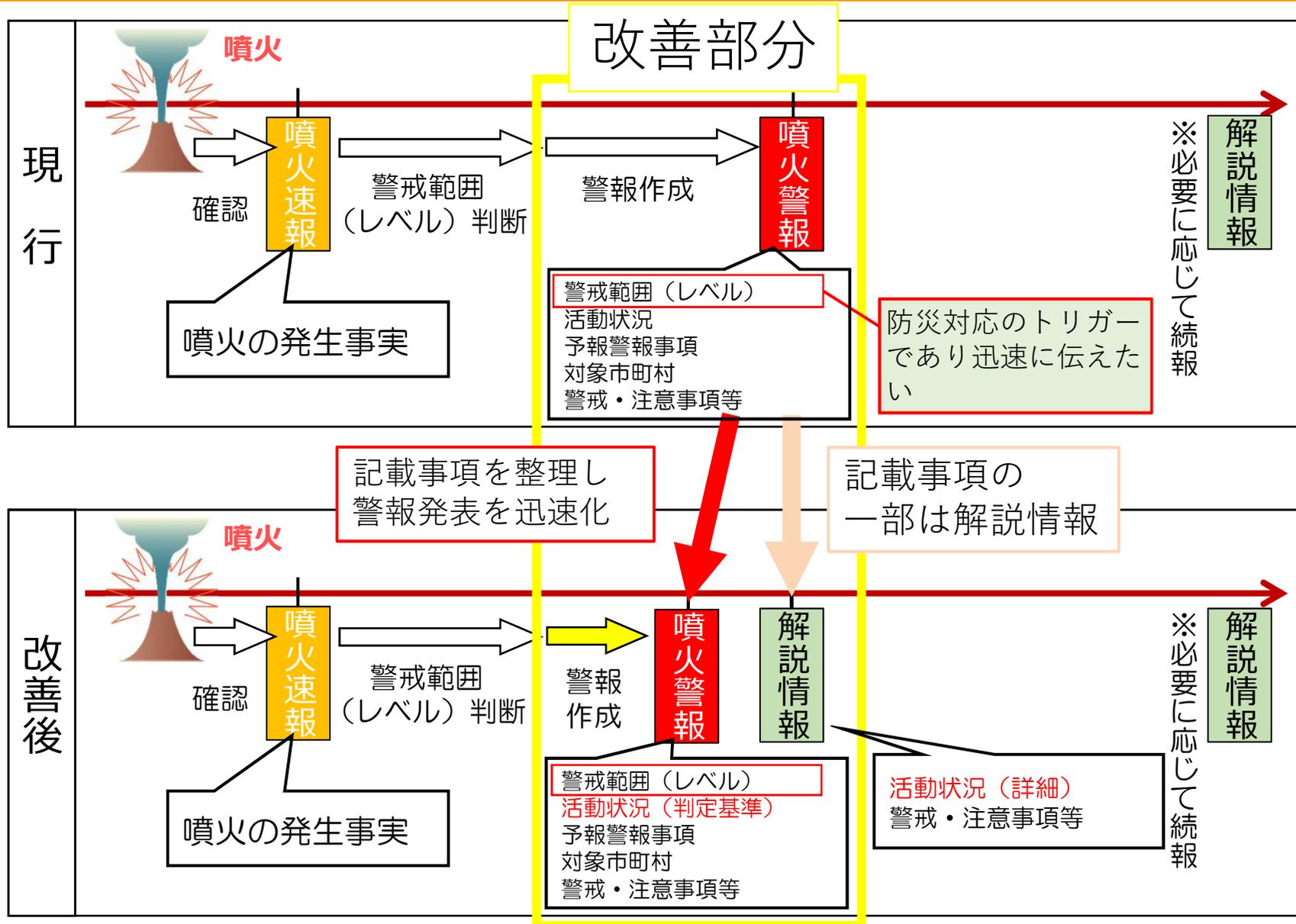
- 運用開始日時  
令和4年3月31日(木)9時

以上

### 【本件に関する問い合わせ先】

気象庁地震火山部管理課計画係 03-6758-3900（内線5116）

# 噴火警報の改善の取組（改善イメージ）



※ 警戒範囲の判断に要する時間は状況によって異なる

※ 図中では情報の一部を省略

# 噴火警報の改善の具体例 (H31.2.25の霧島山 (新燃岳) の警報発表)

## 現状

火山名 霧島山 (新燃岳) 噴火警報 (火口周辺)  
平成31年2月25日14時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

\*\*(見出し)\*\*

<霧島山 (新燃岳) に火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制) を発表>  
新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

<噴火警戒レベルを1 (活火山であることに留意) から2 (火口周辺規制) に上げ>

\*\*(本文)\*\*

### 1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震が増加しており、昨日 (24日) 3回、本日 (25日) 13時30分までに17回発生しています。

火山性微動は観測されていません。

これらの地震の増加に伴う地殻変動は認められませんが、G N S S連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは鈍化しているものの継続しています。

今後、小規模な噴火が発生するおそれがあり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2 kmまで、火砕流が概ね1 kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では警戒してください。

### 2. 対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で警戒をしてください。

宮崎県 : 小林市

鹿児島県 : 霧島市

### 3. 防災上の警戒事項等

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2 kmまで、火砕流が概ね1 kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石 (火山れき) が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。また、地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。

\*\*(参考: 噴火警戒レベルの説明)\*\*

【レベル5 (避難)】: 危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル4 (避難準備)】: 警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要。

【レベル3 (入山規制)】: 登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。状況に応じて要配慮者の避難準備等。

【レベル2 (火口周辺規制)】: 火口周辺への立入規制等。

【レベル1 (活火山であることに留意)】: 状況に応じて火口内への立入規制等。

(注: 避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる)

## 改善 (案)

火山名 霧島山 (新燃岳) 噴火警報 (火口周辺)  
平成31年2月25日14時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

\*\*(見出し)\*\*

<霧島山 (新燃岳) に火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制) を発表>  
新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

<噴火警戒レベルを1 (活火山であることに留意) から2 (火口周辺規制) に上げ>

\*\*(本文)\*\*

### 1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震が増加しており、昨日 (24日) 3回、本日 (25日) 13時30分までに17回発生しています。

火山性微動は観測されていません。

これらの地震の増加に伴う地殻変動は認められませんが、G N S S連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは鈍化しているものの継続しています。

今後、小規模な噴火が発生するおそれがあり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2 kmまで、火砕流が概ね1 kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では警戒してください。

### 2. 対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で警戒をしてください。

宮崎県 : 小林市

鹿児島県 : 霧島市

### 3. 防災上の警戒事項等

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2 kmまで、火砕流が概ね1 kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2 kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石 (火山れき) が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。また、地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。

\*\*(参考: 噴火警戒レベルの説明)\*\*

【レベル5 (避難)】: 危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル4 (避難準備)】: 警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要。

【レベル3 (入山規制)】: 登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。状況に応じて要配慮者の避難準備等。

【レベル2 (火口周辺規制)】: 火口周辺への立入規制等。

【レベル1 (活火山であることに留意)】: 状況に応じて火口内への立入規制等。

(注: 避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる)

灰色文字部分を省き、必要最低限で簡潔な記載とする